

連載 登録医のご紹介

ベルランド総合病院広報誌「ベルフォーラム」

# Bell Forum

地域と職員とともに栄えるチーム

新部長紹介  
新入職医師紹介

2019  
Summer  
No. 64

## TOPICS

平成30年クリニカル・インディケーター実績報告  
第32回ベルランド健康塾「腰の病気について」を開催しました  
ベルランド市民公開講座を開催しました  
産婦人科レビューコースを開催しました  
Medical English Courseを開催しました  
第7回泉北骨・関節セミナーを開催しました  
臨床研修医同窓会に参加して

# 新部長 紹介



**総合急病救急センター  
総合内科**  
まるやま かつゆき  
**部長 丸山 克之**

日本救急医学会：救急科専門医  
日本外傷学会：外傷専門医  
日本中毒学会クリニカル・トキシコロジスト  
厚生労働省 緩和ケア研修 修了

【 略 歴 】

1990年9月 近畿大学医学部医学科 卒業  
1993年4月 近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 診療助手  
1995年7月 良秀会藤井病院 外科 常勤医  
1996年7月 近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 診療助手  
1999年4月 市立岸和田市民病院 救急診療科 医長  
2001年4月 近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 診療講師  
2003年4月 近畿大学医学部 救急医学 講師  
2019年4月 ベルランド総合病院 急病救急センター 総合内科 部長



**産婦人科**  
おおにし ようこ  
**部長 大西 洋子**

日本産科婦人科学会：産婦人科専門医、指導医  
母体保護法指定医  
新生児蘇生法専門コースインストラクター  
J-CIMELS ベーシックコースインストラクター  
日本産婦人科学会認定ヘルスケアアドバイザー  
日本体育協会認定スポーツ医  
日本渡航医学会 認定医療職  
厚生労働省 緩和ケア研修 修了

【 略 歴 】

1993年 3月 筑波大学 医学専門学群 卒業  
1997年 4月 賛育会病院 産婦人科  
2002年 3月 筑波大学大学院 医学研究科 卒業  
2002年 4月 国立西埼玉中央病院 産婦人科  
2003年 4月 市立豊中病院 産婦人科 (2006～医長)  
2007年 9月 I V F なんばクリニック 産婦人科医長  
2013年 10月 吹田市民病院 産婦人科  
(2015～部長, 2018～主任部長)  
2018年 6月 ベルランド総合病院 産婦人科 部長

循環器内科



まつした つかさ  
**松下 司**  
2011年卒

日本循環器学会：循環器専門医  
日本内科学会：認定医  
日本心血管インターベンション治療学会：認定医  
日本心臓リハビリテーション学会：指導士



うめむら たけし  
**梅村 孟司**  
2017年卒

呼吸器内科



はまざき なおこ  
**濱崎 直子**  
2014年卒



はっとり つよし  
**服部 剛士**  
2016年卒

消化器内科



せき けんいちろう  
**関 建一郎**  
2008年卒

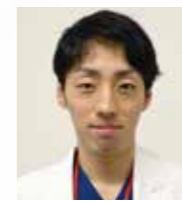
日本内科学会：認定内科医  
日本消化器病学会：専門医  
日本消化器内視鏡学会：専門医  
日本肝臓学会：専門医



あさだ しょうへい  
**浅田 翔平**  
2013年卒

日本内科学会：認定内科医

整形外科



ふるいち たくや  
**古市 拓也**  
2015年卒



わたなに しゅんすけ  
**綿谷 俊介**  
2017年卒



**リハビリテーション科**  
おおしま かずや  
**部長 大島 和也**  
【整形外科 副部長 兼務】

日本整形外科学会：専門医  
：運動器リハビリテーション認定医  
：脊椎脊髄病認定医  
：リウマチ認定医  
：スポーツ認定医

【 略 歴 】

2000年3月 大阪大学医学部医学科 卒業  
2002年6月 大阪厚生年金病院  
2007年3月 大阪大学大学院医学系研究科 修了  
2007年4月 大阪大学医学部附属病院  
2009年4月 国立がんセンター中央病院  
2011年7月 大阪府立成人病センター 整形外科 (骨軟部腫瘍科) 診療主任 (2013～医長)  
2016年4月 大阪府立成人病センター 整形外科 (骨軟部腫瘍科) 副部長 兼 リハビリテーション科部長  
2017年4月 大阪国際がんセンター 整形外科 (骨軟部腫瘍科) 副部長 兼 リハビリテーション科部長  
大阪府立病院機構本部 事務局マネージャー (リハビリテーション改革担当)  
2018年7月 ベルランド総合病院 リハビリテーション科 部長 (整形外科 副部長兼務)



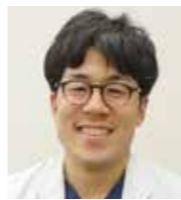
**耳鼻咽喉科・頭頸部外科**  
みかみ しんじ  
**部長 三上 慎司**

日本耳鼻咽喉科学会：専門医・指導医  
日本頭頸部外科学会：頭頸部がん専門医

【 略 歴 】

2003年 3月 奈良県立医科大学 卒業  
2005年 4月 奈良県立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科 医員  
2008年 4月 愛知県がんセンター 頭頸科 レジデント  
2010年 4月 奈良県立医科大学附属病院 耳鼻咽喉科・甲状腺外科 医員  
2013年 11月 奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座 助教  
2018年 3月 奈良県立医科大学大学院 修了  
2018年 4月 ベルランド総合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 副部長  
2019年 4月 ベルランド総合病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 部長

産婦人科



よしむら あきひこ  
**吉村 明彦**  
2009年卒

日本産科婦人科学会：産婦人科専門医  
日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医  
厚生労働省 緩和ケア研修 修了



おわ たかお  
**小和 貴雄**  
2010年卒

日本産科婦人科学会：産婦人科専門医



おかだ あや  
**岡田 彩**  
2017年卒

外科



まつなが たかし  
**松永 隆志**  
2014年卒

泌尿器科



しみず かずき  
**清水 一希**  
2016年卒

形成外科



こにし くにひろ  
**小西 邦彦**  
2017年卒

耳鼻咽喉科・頭頸部外科



きむら なおみき  
**木村 直幹**  
2008年卒

日本耳鼻咽喉科学会：専門医

内分泌・代謝科



ふじき のりたか  
**藤木 典隆**  
2000年卒

日本内科学会：認定総合内科専門医  
日本糖尿病学会：専門医・研修指導医

# 初期臨床研修医 紹介



あさと えりな 安里 江利菜  
いとう しおり 伊東 詩織  
さかき たつや 榊 辰也  
ばば けんじ 馬場 健司  
ふじおか みさと 藤岡 美里  
もり ゆうすけ 森 裕亮  
わかさ しほ 若狭 志保  
きたじま りょう 北島 遼

放射線診断科



さかもと はるな  
**阪本 晴菜**  
2016年卒

麻酔科

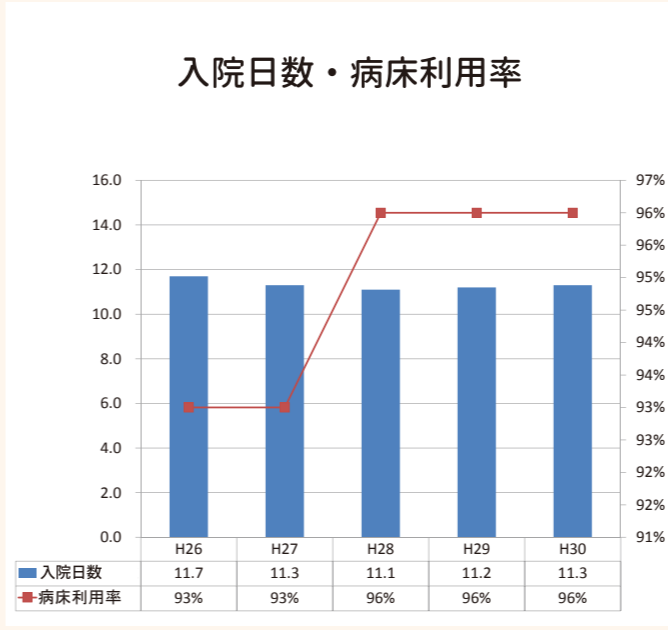
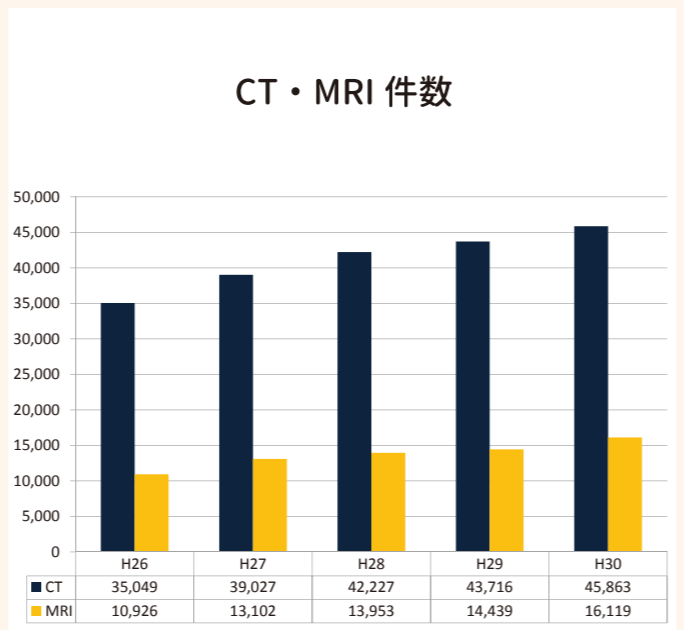
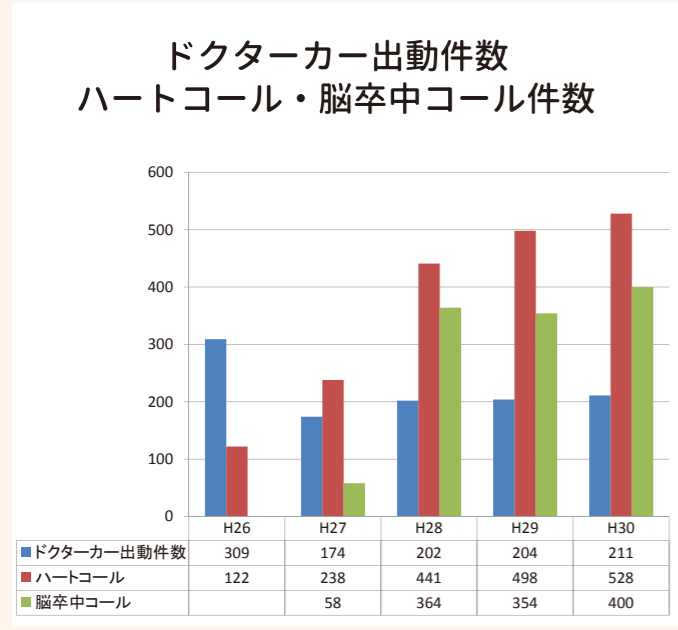
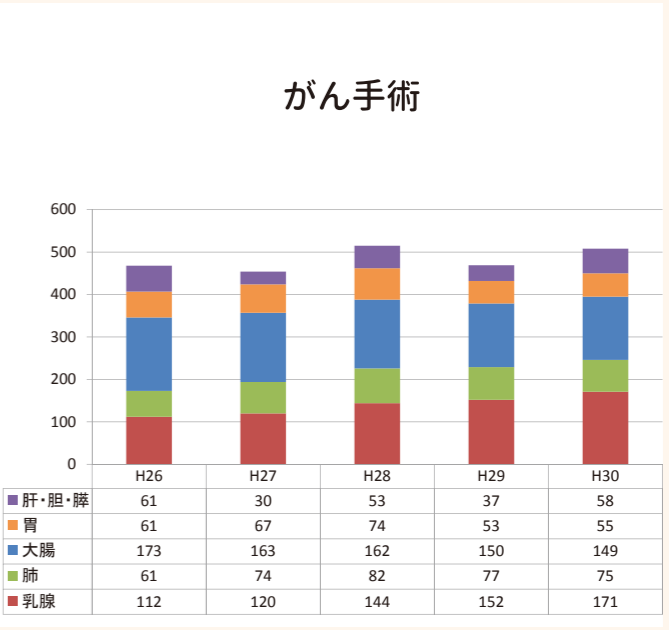
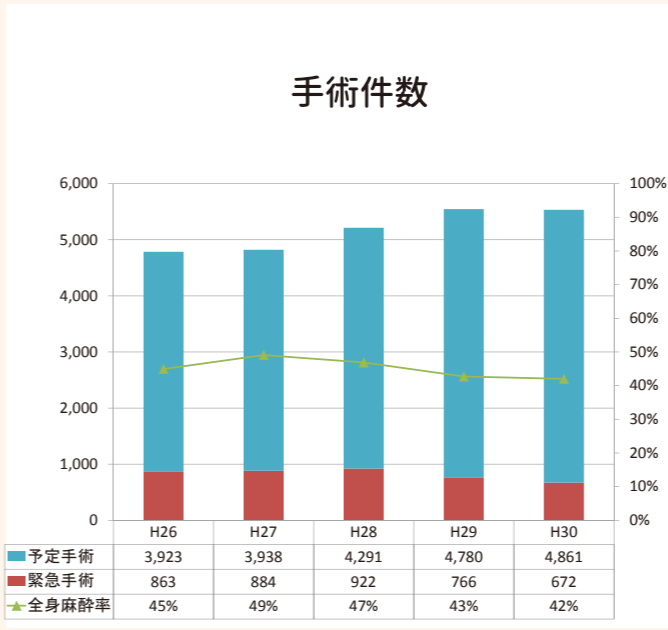
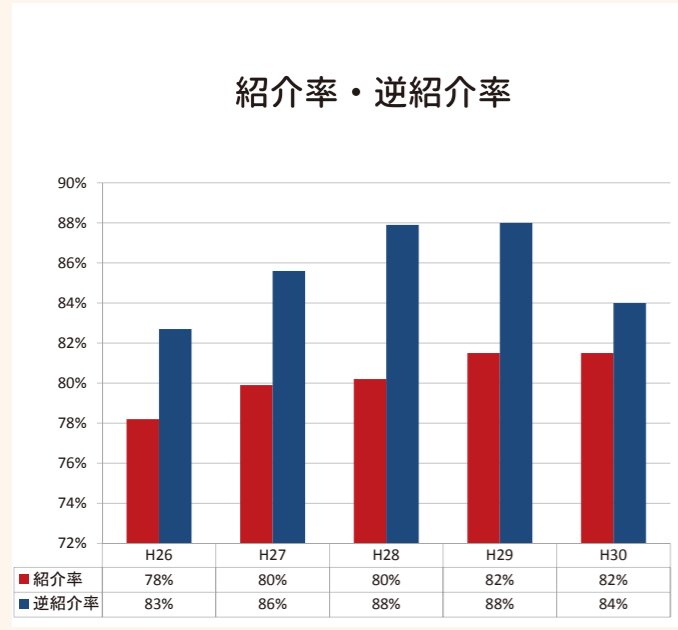
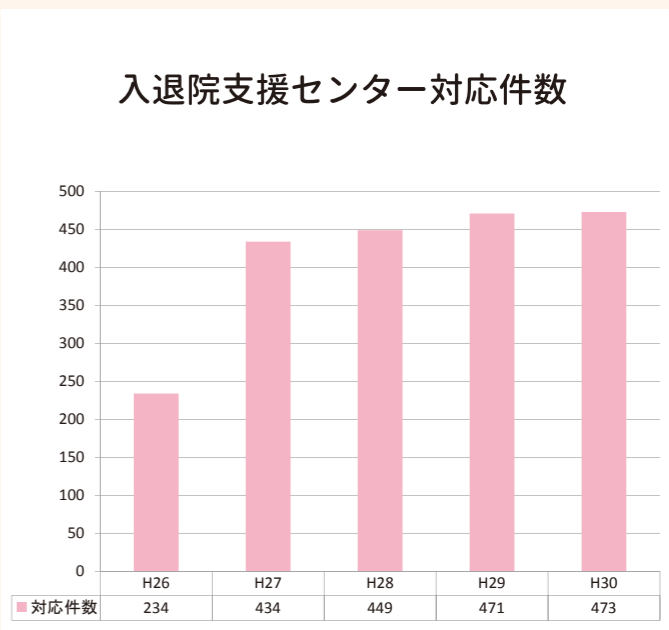
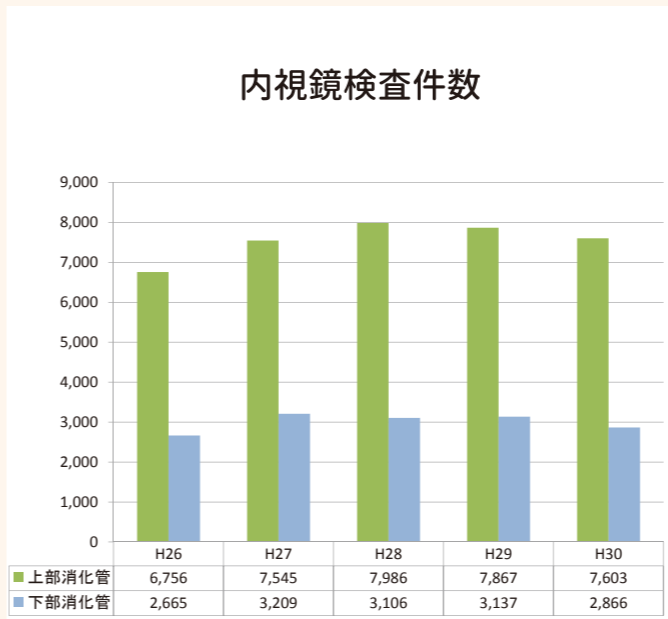
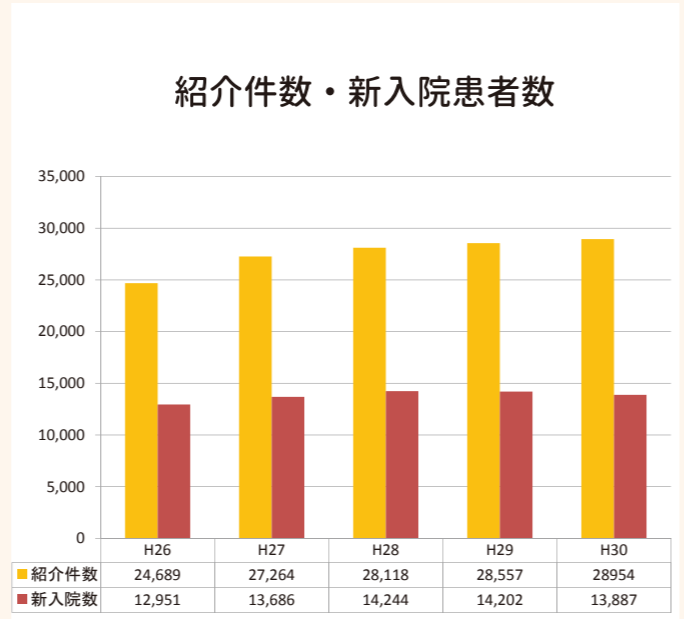


かわせ さゆり  
**川瀬 小百合**  
2013年卒  
日本麻酔科学会：認定医

平成30年6月1日 部長1名就任  
平成30年7月1日 部長1名就任  
平成31年4月1日 部長2名 就任  
平成31年4月1日 医師26名  
(うち初期臨床研修医 8名) 入職

今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

# 平成 30 年 臨床・インディケーター 実績報告



ベルランド総合病院は、安全を第一に地域密着型の高度急性期治療を 24 時間 365 日提供しています。直近 5 年間のさまざまな臨床指標が示すように、当院の医療機能は確実に向上しており、昨年 4 月から DPC 特定病院群（大学病院本院に準ずる機能を有する病院）の指定を受けました。

一方、入院日数が欧米並みに短縮してきている現状で、入院前から社会的背景も考慮し、安心な入院生活が送れるよう支援しています。

2019 年 5 月  
病院長 亀山 雅男



松本内科クリニック まつもと 松本 だいすけ 大輔 先生

内科・消化器内科・糖尿病内科

Q. 医師を目指したきっかけは？

自分の知識、技術を人のために役立てることができてそれが直接実感できる仕事、やりがいを感じられる職業として一番に浮かんだのが医師であったので。

Q. 診察の際に心がけていることは？

現在困っていること、不安なこと、疑問なことを含めしっかりお話をうかがうよう心がけております。また高齢者に対しては介護の事も相談、対応しております。

Q. 地域医療について

かかりつけ医として内科の診察はもちろん日曜診療、在宅医療、小児対応などもしており患者さんに寄り添った医療提供を継続していくつもりです。また高齢者などの認知症、介護の相談、服薬状況などの相談にも応じております。

Q. ベルランド総合病院への希望・要望

いつも患者さんの受け入れなどの対応ありがとうございます。受入れ後の連携、情報提供も迅速にしてください、その後患者さんからいい病院紹介していただいたと感謝の声を頂いております。



星座：おうし座 血液型 AB型  
趣味：旅行

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	●
17:00～20:00	●	●	/	●	●	/	/

【休診】水曜午後、土曜午後、日曜午後、祝日

住所：大阪府堺市東区高松 122-15

TEL：072-289-6784

Q. 最後に一言お願いいたします

かかりつけ医、気軽にかかれる身近な医療機関として、当院は日曜日午前の診察、在宅医療、小児対応もさせていただいております。地域の皆さんに安心していただけるよう、今後も精進してまいります。

新規登録医

登録医件数 409 件  
H31.4.1 現在

北区	レディースクリニックやぎ やぎ じゅんこ 八木 潤子 先生
和泉市	よしくりニック きたの よしのり 北野 義徳 先生

医療従事者向け セミナー

5月23日(木)	第7回泉北循環器連携フォーラム (ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺)
6月6日(木)	第6回南大阪内科カンファレンス (ベルランド総合病院 AIF ホール)
6月29日(土)	第19回堺・泉北呼吸器カンファレンス (ベルランド総合病院 AIF ホール)
7月13日(土)	第14回泉北地区病診連携皮膚科の会 (ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺)
7月27日(土)	第11回南大阪医学教育セミナー (ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺)

参加費は無料です  
お気軽にお越しください



市民向け 講演会

ベルランド健康塾

女性限定！

骨盤底筋体操をやってみよう！

中高年のための尿もれセルフケア講座

産婦人科 部長 大西洋子

更年期対策レシピ

管理栄養室 室長 正木美由紀



レディース病棟を紹介します

レディース病棟 科長 松岡晃子

2019.5.29 (水) 14時半～15時半

ベルランド総合病院 地下1階 AIFホール

Topics

2019年2月18日 『第7回ベルランドリハビリテーションセミナー』を開催しました

「回リハにおける多職種連携、地域連携とマネジメント」

森ノ宮病院 理学療法士 藤井 崇典 先生  
森ノ宮病院 作業療法士 三浦 教一 先生

2019年3月9日 『第8回泉北地区認知症カンファレンス』を開催しました

「高齢者医療における認知症とフレイルの重要性～特にその相互関係について～」

名古屋大学大学院医学系研究科  
地域在宅医療学・老年科学教室  
教授 葛谷 雅文 先生



第32回ベルランド健康塾「腰の病気について」を開催しました

整形外科 脊椎脊髄外科指導医 飛松秀和

現在、平均寿命と健康寿命との差（つまり要介護、要支援状態で過ごす月日）が、男性で約9年、女性で約12年となっており、その要介護、要支援状態になる原因として多いのが運動器疾患とされています。その運動器疾患とは、背骨や関節の病気のこと、腰の病気が含まれます。

今回の健康塾では、そういった腰の病気についてスポットを当てて、腰部脊柱管狭窄症や腰椎椎間板ヘルニア、腰椎すべり症、骨粗鬆症性椎体骨折などの病気について、その症状、病態、治療法などについて解説しました。



一般的に、お年を召していくと、徐々に腰の神経の通りが悪くなり、足の痛みやしびれが出現し、典型的な症状としては、続けて長く歩けない、長く歩くと足がしびれて痛くなってくるなどの症状が出現し、日常生活動作に支障が出てきます。そういった場合にレントゲン、MRIなどで検査し、状態によって内服治療や硬膜外ブロックなどの保存治療を行いますが、それでも症状が改善せず、日常生活に支障をきたす時には、手術が必要となる場合があります。同じ病名でも、個々の患者さんによって、またその時期によってどういった治療が適切かは変わってきますので、それぞれに合った治療を選択していくこととなります。

年齢を重ねるにつれて、体のいろいろな部分に不都合が生じてきますが、上記のような腰の病気も含めてご自身の体とうまく付き合っていくながら、元気に生活していける様に、医療機関を受診して健康寿命を延ばしていきましょう。



# ペルランド市民公開講座 開催しました



2月16日(土)に堺市立東文化会館において、第9回市民公開講座を開催致しました。今回のテーマは「糖尿病」で、当院の医師(内分泌代謝科)、管理栄養士、看護師(慢性疾患看護専門看護師)よりお話をさせて頂きました。

最初に医師の飯塚より「あなたも糖尿病予備軍?」というタイトルで糖尿病の基本的な知識から最新の見地ついて幅広くお話をしました。続いて管理栄養士の藤岡より食品に関するクイズを交えて、「糖尿病の食事は特別な食事ではなく、バランスのよい食事であること」をお伝えしました。看護師の片山からは、フットケアについて「足をみる習慣」から対処方法まで、イラストを交えて分かりやすくお話をしました。

最後の質問コーナーでは、会場から、日頃の気にかかる症状や悩み、治療に関することや食事、フットケアについて多岐にわたる質問をいただきました。自身の経験を交えてお話下さる方も多数おられたことが印象的でした。300名近い方が参加され、糖尿病は非常に関心が深いテーマであることを実感したのと同時に、今回の公開講座を通じて、市民の方の生の声を聞くことで糖尿病の治療に携わるものとして今後もお役に立っていかうと改めて思いました。

糖尿病と診断された方の栄養指導に関しては、2月より開業医の先生からの紹介で栄養指導をさせて頂くことができるようになりました。希望される場合は紹介状が必要ですが、食事療法についてお困りの方や気になることがある方は、一度かかりつけの先生に相談されてはいかがでしょうか。

管理栄養士 藤岡友美

市民公開講座では、スタッフ一丸となって市民の方々の健康に役立つ講座を開催してまいります。今後とも多数のご参加をお待ちしております。



質問コーナーでは活発なご質問をありがとうございました



測定コーナーでは血管年齢をチェック!



# 産婦人科レビューコースを開催

## Program

【講演1:リプロダクティブ・ヘルス/ライツと安全な中絶】

大阪大学大学院 医学系研究科 産科学婦人科学教室 教授  
大阪大学医学部附属病院 病院長  
木村 正 先生

【講演2:臨床遺伝学】

兵庫医科大学 産科婦人科学講座 教授  
澤井 英明 先生

【講演3:不妊症】

兵庫医科大学 産科婦人科学講座 主任教授  
柴原 浩章 先生

【講演4:TORCH症候群】

神戸大学大学院医学研究科外科系講座 産科婦人科学分野 教授  
山田 秀人 先生

【講演5:子宮頸癌】

新潟大学医学部 産科婦人科学教室 教授  
榎本 隆之 先生

【講演6:卵巣がん】

松江市立病院 病院長 紀川 純三 先生

【講演7:婦人科腹腔鏡手術】

がん研究会有明病院 婦人科 副部長  
金尾 祐之 先生

【講演8:超音波スクリーニング】

IVF大阪クリニック 部長 峯川 亮子 先生

【講演9:思春期・若年期の月経異常】

こうむら女性クリニック 院長  
甲村 弘子 先生

【講演10:骨盤臓器脱 診断、治療と今後の展開】

大阪急性期・総合医療センター 産婦人科  
主任部長 竹村 昌彦 先生

【講演11:子宮内膜癌の診断と治療戦略】

大阪医科大学 産婦人科学教室 教授  
大道 正英 先生

【講演12:早産・IUGR (FGR)】

宮崎大学 学長 池ノ上 克 先生

【講演13:胎児低酸素の病態生理学】

社会医療法人生長会  
周産期医療研究所/医学教育センター 所長  
村田 雄二

【講演14:産科出血と放射線】

福島県立医科大学医学部  
産科・婦人科学講座 教授 藤森 敬也 先生

【講演15:多胎妊娠】

聖隷浜松病院 産婦人科 部長  
村越 毅 先生

【講演16:女性のホルモン治療】

愛知医科大学医学部  
産婦人科学講座 教授 若槻 明彦 先生

※所属・役職は開催時点のものです

2019年2月9日(土)~10日(日)の2日間、生長会周産期医療研究所 村田雄二所長をコースディレクターとして、産婦人科レビューコースを開催いたしました。今年で9回目になるこのコースは、産婦人科専門医取得前後の医師を対象としており、幅広い基本的産婦人科知識が得られるとして毎年大好評をいただいております。

本年も産婦人科各分野の第一人者の先生方を講師陣にお迎えして、16にわたる充実した講義が行われました。受講者の方々は意欲に満ちた若い先生が多く、一言も聞き逃すまいと熱心にメモをとる姿があちこち

で見られました。また質疑応答時間が十分に設けられていたことは他に類をみず、受講者の理解を深める工夫が随所になされておりました。白熱した議論のあとの懇親会は一転して和やかな雰囲気。若い先生方が講師の先生方と直接お話をさせていただく貴重な場ともなりました。

全体をとおして、参加者全員が産婦人科医であることの誇りとやりがいを共有できた、とても充実した2日間でした。非常に内容が濃かったのでお疲れになった方も多かったと思います。講師の先生方、ありがとうございました。

## Medical English Course 開催

村田雄二所長と Feizal Waffarn 教授の指導のもと、4人1組のグループとなり、模擬患者さんへの問診、診断、プレゼンテーションを英語で行いました。問診を行う際には、聞きたいことはあるのに、単語が出て来ず、英語で表現するとニュアンスが変わってしまい、症状を聞くだけでも非常に苦労しました。先生方が質問の意図をくみ取って、上手な言い回しを教えてくださいましたが、自信の無さが声の小ささにつながり、Feizal 先生にもっと大きな声で伝える気持ちを持って質問しなさい、とアドバイスをいただきました。



英語で臨床医療の一局面に触れることで刺激を受け、留学してみたいという気持ちがわきました。そして将来、海外でも自信を持って医療を行えるように努力していこうと思います。

臨床研修室 藤田葵

# 第7回泉北骨・関節セミナー開催



平成 31 年 2 月 23 日 (土) の夕べ、ベルランド総合病院 地下 1 階 AIF ホールにて「第 7 回泉北骨・関節セミナー」が開催され、65 名の医療職にご参加いただきました。

倉都滋之副院長の挨拶に続き、手外科外傷外科 蒲生和重部長の座長により「がんロコモに対する整形外科医の役割～希少がんの肉腫からがん救急の脊椎転移を診る時代を迎えて～」と題して、リハビリテーション科 部長 大島和也より基調講演をさせていただきました。

特別講演では「手・肘の機能障害に対する治療～治すべき障害と治すべきでない障害～」と題し、JCHO 大阪病院 救急部部長・スポーツ医学科 部長 島田幸造先生にご講演いただきました。島田先生には、これまでの長い臨床経験をもとに、肘や指の難しい骨折の治療法だけでなく、生活するうえでのバランスを考えた捉え方や向き合い方までご教示いただきました。



JCHO 大阪病院  
救急部部長・スポーツ医学科  
部長 島田 幸造 先生

人の生涯において骨折が健康状態に与える影響は大きく、骨折後の生存率は驚きの低さです。日本整形外科学会は、ロコモティブシンドローム (ロコモ) をキーワードに、運動器の大切さ、ロコモ対策を啓発しており、平成 30 年度の PR 事業テーマは「がんロコモ (がんとロコモティブシンドローム)」です。

がんと聞くと腰が引けてしまいがち (がんの呪縛) です。整形外科医は、運動器の専門家として、移動機能の低下 (がんロコモ) の原因を探り、がん自体やがんの治療による運動器の障害のみならず、変性疾患など、がんに伴存する運動器の障害にも目を向けると同時に、これから迎える超高齢化社会での介護から自立支援へのパラダイムシフト、健康寿命の延伸に取り組みます。

骨折だけを診ず、人の生活や人生を診て、より良い「動ける」「生活できる」が達成できることを切に願い、実地臨床、啓発活動を行ってまいります。

リハビリテーション科 部長 大島 和也



リハビリテーション科 部長  
大島 和也



2 月に行われた研修医同窓会に参加しました。3 年ぶりに開催され、ベルランドで研修制度が開始された初代から現在までの先生方が集まる貴重な機会でした。ちなみに、この 3 月で卒業される研修医までで 100 名を数えるとのこと。病院長や歴代プログラム責任者医師の挨拶もあり、当時研修医だった先生たちも懐かしんでいる様子でした。私も先輩たちとお話する機会があり、かつての研修生活を垣間見ることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

さて、昨年から初期研修医 1 年目、社会人 1 年目としてのスタートをきりました。働く、という感覚を体に染み込ませることから始まり、学生との生活リズムのギャップに戸惑い、積極性や責任感のなさを痛感したこともあり。各診療科で学ぶべきことも無限に思われるほど多く、自分の無知と無能さと向き合う日々。無我夢中で過ごした 1 年でした。

夜間看護実習体験にも参加しました



麻酔科医による  
内頸静脈穿刺のトレーニング



1 年間を振り返ってみると、いろいろな人にお世話になったと感じます。指導医を始め、各科の先生、病棟の看護師、薬剤師、栄養管理士、臨床工学技師、理学療法士、事務、食堂のおばちゃん、掃除のおばちゃん。わからないことは何でも質問し、教わりました。

そして、何よりも心の支えになったのは、同じ研修医ルームで過ごした同期、そして 2 年目の研修医の先輩方でした。働き出したばかりで気も張り詰め、カルテ記載に苦しんでいた 4 月のある夜のことです。「これはこうしたらいいと思う。けど、夜遅くまで頑張るすぎや。ほどほどで帰るや」と声をかけてくれました。初めてのパワーポイント作成がうまくいかず、連日日付をまたいで準備していたとき、当直だった 2 年目の先輩が親身になって言ってくれたアドバイス、その心配りに私はどれほど救われたことかわかりません。

同窓会にいらっしゃった先生方も、元々は研修医 1 年目であり、当時の研修医 2 年目に支えられながら 1 年目を過ごし、また次の代へとベルランド研修医のたすきをつないできたのだらうと思いを馳せました。

これから新しい 1 年が始まります。昨年度の春とはまた異なる、期待と不安が入り混じった思いです。1 年目に感じたことを深く胸に刻み、今後も努力して参ります。

臨床研修室 竹本祐基